



さくらんぼぐみだより

2022. 10 尚徳福祉会 坂戸保育園

澄み切った青空と朝夕の涼しさに秋の深まりを感じるようになりました。子どもたちは園庭で落ち葉を踏みカサカサという感触を楽しんだり、色づき始めた柿を見つけ保育者に抱っこしてもらい触れてみようとしたりと秋を楽しんでいます。

朝夕の温度差が大きい時期でもありますので子どもたちの体調の変化には十分気をつけて過ごしていきたいと思います。



～自分で！の気持ちを大切に～

毎日のお着替えが少しずつ出来るようになってきました。ズボンはちょっと手伝うと自分でギュッと上にあげたり、おろしたりが出来るようになり褒めると嬉しそうな顔を見せてくれます。

シャツや上着は袖を少し抜いてあげるなど補助してあげると脱ぎやすくなります。出来ることが増えると嬉しいですね、『出来たあ』の笑顔は最高です。Tシャツが小さい、伸びない素材などは難しいことがあります。日々の中出来たことをたくさん積み重ねていきたいと思いますので着脱しやすい物のご用意をお願いします。



～まねっこ～

手洗いに興味を持ち始め、保育者が手を洗っている姿を見て手をゴシゴシと真似をしています。手を洗っていたはずが、いつの間にか洋服がビチャビチャになる姿もありますが一人ひとり手を添えて、きれいになる気持ちよさを伝えるようにしています。



～小さな秋みつけた～

気候が良くなりお散歩に行く機会が増えてきました。KSP 広場に着くと「やったー」と叫びながら走ったり、落ち葉を沢山集めたりと思い思いに楽しんでいます。帰りには小道のどんぐりを見つけて大喜び！手を伸ばして一生懸命掴もうとする姿がとても可愛らしく、ころころ転がるどんぐりを無事に握ることが出来るとにんまりと嬉しそうな表情をしています。「どんぐりころころ」の歌に合わせて身体も揺らして楽しんでいます。



～お芋ほり～

おいしい食べ物がたくさん収穫できる実りの秋です。幼児クラスがお芋掘りで取ってきた小さいサツマイモをもらってお砂場に埋めてお芋掘りごっこをしました。砂をスコップや手で掘っていくとお芋が顔を出し、それを見つけた子が「あったー」と嬉しそうに声を出していました。最後にお友達や保育者と見せ合いっこをして収穫の喜びを味わいました。

